

第28回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成24年9月28日（木）14:00～15:00

【出席者】 市長、副市長、教育長、水道局長、総務部長、企画財政部長（代理）、市民生活部長（代理）、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、環境経済部参与、都市部長、建設部長、教育委員会総務部長、消防長、秘書広報課長、施設管理課長、健康づくり支援課長、保育課長、クリーンセンター長、商工観光課長、手賀沼課長、農政課長（代理）、道路課長、下水道課長（代理）、公園緑地課長、教育委員会総務課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について

（公園緑地課）

- ・ 除染中のため測定が出来ない4公園を除き、市内全ての公園の放射線量を測定した。
- ・ 今年度は65公園の除染を予定していたが、6公園を前倒しで行うこととし、71公園の除染を行いたい。来年度は $0.23\mu\text{Sv/h}$ を超えている23公園を予定している。

（2）手賀沼湖畔での放射線量測定について

（手賀沼課）

- ・ 9月24日に手賀沼湖畔14地点で放射線量測定を行った。
- ・ 根戸幹線流出口付近と原久保幹線流出口付近の2地点で、 $0.23\mu\text{Sv/h}$ を超える放射線量が測定された。
- ・ 両地点ともに一般の人が立ち入るような場所ではないため、除染の必要はないと考えている。
- ・ 人が良く行くような場所の放射線量は低く、対策は特に考えていない。

（3）市民が持ち込む食品検査で、りんごから高濃度セシウムが検出された経過について

（商工観光課）

- ・ 家庭で作られたりんごから、1500ベクレルを超える放射性セシウムが検出された。
- ・ 同品種のりんごを栽培している近隣2軒の協力を得て検査した結果、基準値の100ベクレルを下回る値であった。
- ・ 様々な機関に分析や見解を求めたが、特定の家のりんごだけ高濃度セシウムが検出された原因は分からなかった。

（4）住宅の除染について

（放射能対策室）

- ・ 国の除染基準が高さ 1m で $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上のところ、我孫子市は独自の基準で小学生以下の子どもがいる住宅については、高さ 50 cm で $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上の住宅を除染対象とする。
- ・ 玄関先や庭などで敷地の平均的な放射線量を測定し、雨水枡や雨樋下などで局所的に放射線量が高い場所の測定を行う。
- ・ 除染方法は、環境省が提示したメニューどおりだが、家屋の洗浄や庭木の剪定は我孫子市の現状に馴染まないため行わない。
- ・ 除染で発生した土壌や汚泥は原則として現場保管とする。
- ・ 7月の妊婦・就学前の子どもがいる住宅を対象とする募集では、集合住宅 36 件を含む 584 件の申請があった。
- ・ 高さ 1 m の測定を行った結果、約 30% の住宅が除染対象となり、高さ 50cm では約 46% の住宅が除染対象となっている。
- ・ 10月1日より、小学生以下の子どもがいる住宅を対象に募集を行い、10月中旬からは、7月の募集で除染の対象となった住宅の除染を行う。
- ・ 今年度中に、高校生以下の子どもがいる住宅の除染を完了したいと考えている。
- ・ 来年度は、上記以外の住宅の除染をまとめて行う予定である。

(5) 東京電力への賠償請求について

(水道局)

- ・ 9月26日に、昨年12月～今年3月までにかかった費用について、東京電力へ2回目の賠償請求を行った。
- ・ 人件費を除いた請求金額は 277,830 円で、水質検査費用とシンチレーション測定器の購入費用を含む。

(その他)

(保育課)

- ・ 9月19日、アンジェリカ保育園の給食食材の小松菜から、検出限界値 4.92 ベクレルを超える 5.12 ベクレルの放射性セシウム 137 が検出された。
- ・ 9月20日、双葉保育園の給食食材の茨城県産れんこんから、検出限界値 6.07 ベクレルを超える 7.62 ベクレルの放射性セシウム 137 が検出された。
- ・ セシウムが検出された食材は、給食食材として使わないように連絡し、代替りの材料で対応した。
- ・ ゲルマニウム半導体検出器による、給食まるごと検査を9月18日から開始したが、放射性セシウムは検出されなかった。